

学校再編だより

中和小学校

— 第 3 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年9月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第2回中和小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

8月28日（月）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、中和小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では「旭市学校再編基本方針の策定経緯」、「小中一貫教育・義務教育学校について」、「事例紹介（香取市立山田小学校）」、「事例紹介（学校の跡地活用）」を議題としました。

主な内容として、前回会議の中で意見があった「統合校として干潟中の活用」また「干潟中で小中一貫校」という点に関して、学校再編計画策定委員会の中で検討された内容について説明しました。

また、近隣市の統合事例として、小学校5校を1校に統合した香取市立山田小学校について、スクールバスの運行状況や統合後に行ったアンケート結果などの説明をしました。



第2回地域検討会議の様子

その後行った意見交換では、古城小学校へ統合することについて委員の賛否を伺いました。多数の委員から賛成とする声があり、「複式学級を避けたいので早く統合してほしい」、「土砂災害対策をしっかりとしてほしい」などの意見がありました。（詳細は裏面に掲載）

次回の会議では、統合に向けての要望事項などを取りまとめていくことになります。

第3回会議開催予定 日時：令和5年10月2日（月）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

配付資料の一部抜粋

旭市学校再編基本方針の策定経緯

学校のあり方検討委員会
(H28.7~H30.3 全6回)

旭市学校再編計画策定委員会
(R元.7~R3.3 全13回)

旭市学校再編基本方針発行

干潟地域のみで小中一貫にした場合の児童生徒数の推移・推計

	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11
1年生	48	40	39	31	30	28	25	31	20
2年生	31	47	41	39	31	30	28	25	31
3年生	59	31	47	41	39	31	30	28	25
4年生	49	59	32	47	41	39	31	30	28
5年生	55	49	58	32	47	41	39	31	30
6年生	60	53	49	58	32	47	41	39	31
中1	49	56	44	49	58	32	47	41	39
中2	40	49	56	44	49	58	32	47	41
中3	45	41	49	56	44	49	58	32	47
合計	436	425	415	397	371	355	331	304	292

下限値を下回る可能性あり

基本方針で設定する下限値

小学校：1学年20人程度 中学校：1学年2学級以上



委員から出た意見（要約）

○統合には賛成。子供が本当に少なくなっているのでもうどうしようもないと思う。土砂災害対策については市の対応を期待している。

○トータル的に考えて今は賛成。

○古城小への統合は賛成。今後皆さんから意見があったら、またそれに答えていただければと思う。

○基本的には賛成。子どもが多い中で育ててほしいと思っているので、古城小への統合が一番現実的で近い道であればそれでいいと思う。

○統合は基本的に賛成だが、この3つの小学校だけでいいのかは疑問。

○本日配付された香取市の統合の資料を参考に、統合に向かっていったほうがいいと思う。

○統合は基本的には賛成。今後も少子化が進むわけなので、それに対応できるようにお願いしたい。

○賛成。もう少しスピード感を持っていただきたい。

○賛成。時代とともにいろんな大変なことがあると思うが、早くいい方向に進んでいけたらいいと思う。

○古城小への統合はとりあえず賛成だが、そこで終わりではなく、その後の少子化を考えて、別のところに建てるということも考えてほしい。

○とりあえず3校の統合には賛成。土砂災害対策や校舎のリフォームなども考えているのか。

○3校の統合は致し方ないと思うが、古城小への統合は明確に反対。土砂災害特別警戒区域に入っていることが教育現場としてはふさわしくないと思う。

○古城小の土砂災害対策をしっかりとするのであれば賛成。

○古城小に統合することで賛成。複式学級は避けたいので、なるべく早めに統合してもらいたい。学校の跡地も子どもたちが集まって楽しめる場所を作してほしい。

○3校の統合に賛成。複式学級を避けたいので早く統合してほしい。土砂災害対策も早めにやってほしい。

○統合に賛成。説明を聞いて、一番現実的なのが古城小だと感じた。とにかく複式学級を避けたいというのが一番なので、複式学級を避けられる道に早く進んでほしい。

○とりあえず賛成だが、土砂災害特別警戒区域にかかったまま進めると、将来的に禍根を残すのではないかな。

学校再編ホームページ

学校再編基本方針の説明動画

干潟地域小学校の説明動画

過去の学校再編より



【お問い合わせ先】 旭市教育委員会教育総務課学校再編室

TEL：0479-85-8614 FAX：0479-62-5855

Email：kyo-saihen@city.asahi.lg.jp

学校再編だより

萬歳小学校

— 第 3 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年9月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第2回萬歳小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

8月29日（火）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、萬歳小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では「旭市学校再編基本方針の策定経緯」、「小中一貫教育・義務教育学校について」、「事例紹介（香取市立山田小学校）」、「事例紹介（学校の跡地活用）」を議題としました。

主な内容として、前回会議の中で意見があった「統合校として干潟中の活用」また「干潟中で小中一貫校」という点に関して、学校再編計画策定委員会の中で検討された内容について説明しました。

また、近隣市の統合事例として、小学校5校を1校に統合した香取市立山田小学校について、スクールバスの運行状況や統合後に行ったアンケート結果などの説明をしました。



第2回地域検討会議の様子

その後行った意見交換では、古城小学校へ統合することについて委員の賛否を伺いました。賛成とする声がある一方で、統合自体はやむを得ないが「古城小に行ったことがないのでまだ賛成とは言えない」、「もっと広域で統合してもいいのではないか」などの意見がありました。（詳細は裏面に掲載）

今回の意見を踏まえ、次回の会議でも協議・検討をしながら方向性をまとめていくことになります。

第3回会議開催予定 日時：令和5年10月4日（水）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

配付資料の一部抜粋

旭市学校再編基本方針の策定経緯

学校のあり方検討委員会
(H28.7~H30.3 全6回)

旭市学校再編計画策定委員会
(R元.7~R3.3 全13回)

旭市学校再編基本方針発行

干潟地域のみで小中一貫にした場合の児童生徒数の推移・推計

	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11
1年生	48	40	39	31	30	28	25	31	20
2年生	31	47	41	39	31	30	28	25	31
3年生	59	31	47	41	39	31	30	28	25
4年生	49	59	32	47	41	39	31	30	28
5年生	55	49	58	32	47	41	39	31	30
6年生	60	53	49	58	32	47	41	39	31
中1	49	56	44	49	58	32	47	41	39
中2	40	49	56	44	49	58	32	47	41
中3	45	41	49	56	44	49	58	32	47
合計	436	425	415	397	371	355	331	304	292

下限値を下回る可能性あり

基本方針で設定する下限値

小学校：1学年20人程度 中学校：1学年2学級以上



委員から出た意見（要約）

○児童の数が徐々に減っているのが現実なので、統合してもらいたい。スクールバスの停留所は何箇所か作ってもらいたい。

○反対ではないが、古城小でいいとはまだ言い切れない。行ったことがないので、敷地の大きさや、周りに車が置ける場所があるかなどわからない。

○特に反対ではなく仕方がないと思う。ただ3校で統合してもまた児童数が減って統合になるのであれば、もっと増やして統合してもいいのでは。

○これだけ児童生徒数の減少があれば致し方ないと思う。中学校も3年後には単学級になり得るということに非常に危機感を感じる。

○賛成というよりも致し方ないというのが正直なところ。統合する前に児童の触れ合いや保護者の触れ合いを増やしてくれるか不安はある。

○統合については人数の関係で致し方ないと思う。ただ立地については、中学校のことも含めて考えて、もう少しいい案があるのではないかな。

○中学校はバスを活用して飯岡中や海上中に行くようにして、小学校は新しく建てるという方法もあるのではないかな。

○話を聞いている限りではもう致し方ないと思う。児童の安全や健康に配慮してくれればそれでいい。

○古城小がどういう環境なのかわからないので、賛成か反対かはまだ答えられない。

○賛否についてはやむを得ないと思う。数年かけてこの基本方針ができているので、これがベストな形なんだろうと思う。

○統合については仕方がないと思う。スクールバスの停留所は保護者の負担軽減のために何箇所か作ったほうがいいと思う。

○一応賛成。できれば早く進めてもらいたい。児童の安全面が一番なので、土砂災害警戒区域は解消してもらいたい。

○子どもたちがたくさんいて、元気に賑やかに勉強や運動ができたほうがいいと思うので賛成。

○説明を聞いて、古城小の統合にはほぼ賛成というところまで思わせてもらった。スクールバスのバス停については1か所だけでは現実的に難しいと思う。

○統合については致し方ない。ただ3校で統合するのであれば、もう少し広い地域でやってもいいのかなと思う。

○賛成。萬歳地域が寂しくならないように学校跡地を有効活用して、人が集まれるようにしてもらいたい。

○統合については一応賛成。とりあえず古城小に統合して、その後にもた別のところに再編できるような形でいければいいと思う。

○土砂災害特別警戒区域が隣接している関係で、古城小への統合はまだ賛成できない。児童数を見たときにもっと広域統合も視野に入れる必要がある。

学校再編ホームページ

学校再編基本方針の説明動画

干潟地域小学校の説明動画

過去の学校再編より



【お問い合わせ先】 旭市教育委員会教育総務課学校再編室

TEL：0479-85-8614 FAX：0479-62-5855

Email：kyo-saihen@city.asahi.lg.jp

学校再編だより

古城小学校

— 第 3 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年9月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第2回古城小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

9月4日（月）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、古城小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では「旭市学校再編基本方針の策定経緯」、「小中一貫教育・義務教育学校について」、「事例紹介（香取市立山田小学校）」、「事例紹介（学校の跡地活用）」を議題としました。

主な内容として、前回会議の中で意見があった「統合校として干潟中の活用」また「干潟中で小中一貫校」という点に関して、学校再編計画策定委員会の中で検討された内容について説明しました。

また、近隣市の統合事例として、小学校5校を1校に統合した香取市立山田小学校について、スクールバスの運行状況や統合後に行ったアンケート結果などの説明をしました。



第2回地域検討会議の様子

その後行った意見交換では、古城小学校へ統合することについて委員の賛否を伺いました。多数の委員から賛成とする声があり、「人数が多いほうが友達も増えて楽しい」、「統合前に子どもたちの交流をやってもらいたい」などの意見がありました。（詳細は裏面に掲載）

次回の会議では、統合に向けての要望事項などを取りまとめていくことになります。

第3回会議開催予定 日時：令和5年10月6日（金）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

旭市学校再編基本方針の策定経緯

学校のあり方検討委員会
(H28.7~H30.3 全6回)

旭市学校再編計画策定委員会
(R元.7~R3.3 全13回)

旭市学校再編基本方針発行

干潟地域のみで小中一貫にした場合の児童生徒数の推移・推計

	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11
1年生	48	40	39	31	30	28	25	31	20
2年生	31	47	41	39	31	30	28	25	31
3年生	59	31	47	41	39	31	30	28	25
4年生	49	59	32	47	41	39	31	30	28
5年生	55	49	58	32	47	41	39	31	30
6年生	60	53	49	58	32	47	41	39	31
中1	49	56	44	49	58	32	47	41	39
中2	40	49	56	44	49	58	32	47	41
中3	45	41	49	56	44	49	58	32	47
合計	436	425	415	397	371	355	331	304	292

下限値を下回る可能性あり

基本方針で設定する下限値

小学校：1学年20人程度 中学校：1学年2学級以上



委員から出た意見（要約）

○賛成か反対かという賛成。小中一貫校が旭市でも可能なのかは気になった。

○統合する前に3校の子どもたちが交流できる場を作ってもらいたい。

○子どもたちが少なくなっているの、多くの友達が増えるということで考えれば賛成。

○賛成だが、土砂災害警戒区域を統合までに解消してもらえると安心して通えると思う。

○子どもたちが減っているので致し方ないと思う。

○統合には賛成。香取市の統合後のアンケート結果を参考にしながら進めてもらいたい。

○賛成か反対かと言えば賛成だが、今統合してもこの先また統合になるのであれば、もう少し規模の大きい統合をしてもいいと思う。

○部活動とか児童の数が少ないとできない種類とかも出てくると思うので、統合して人数が増えたほうがいい。

○人数が増えれば友達も増えるし、学力の競い合いも激しくなる、また運動会なども人数多くやったほうが楽しいと思うので賛成。

○統合には賛成。スクールバスの欠席連絡についてはアプリなどで携帯から連絡できるようになればいいと思う。

○時代の流れだと思うので賛成。

○人数が多ければ友達も増えて楽しい学校生活にできると思うので賛成。子どもたちの不安をとるためにも統合前の交流はできたらいいと思う。

○どちらかといえば賛成。友達が増えたりとか、そういうことがいいと思う。

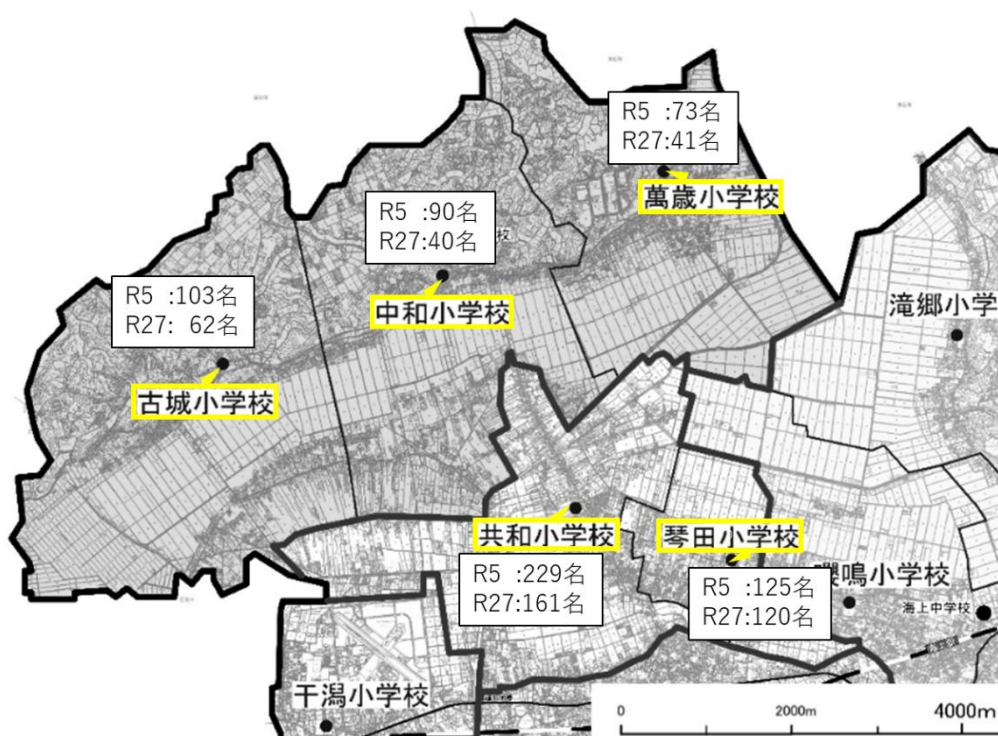
○統合については仕方がないが、場所については土砂災害の安全面、将来的なまちづくりの観点から、中央地区に新設するのがいいのではないかな。

○統合には賛成。統合する学校で一緒に行事をするなどして、統合した後の子どもたちの心的フォローをしっかりとってもらいたい。

○保護者アンケートの結果を前向きに考えたほうがいいと思う。古城小を使うことが、今統合する中では一番いいことだと思う。



小学校の広域統合について



【干潟地域のみで統合した場合】

R5 : 266 名 (11 クラス)

R27 : 143 名 (6 クラス、1 クラス 24 名程度)

【共和・琴田を含んで統合した場合】

R5 : 620 名 (20 クラス)

R27 : 424 名 (12 クラス、1 クラス 35 名で計算)

広域で統合するにあたり考え得る懸念

- ・ 5 校の合意形成
- ・ 地域との関わり
- ・ 開校までの期間

「旭市学校再編基本方針」の考え方

- ・ 適正規模 12～18 学級だけで判断すると、学校数を大幅に減少させなければならないが、地域性等も考慮し、小学校の下限値を 1 学年 20 人程度と設定。
- ・ 現時点での最大の課題である、児童生徒数の減少と財政規模の縮小による教育環境や学校運営の不均衡を解決することを最優先としている。



千潟地域の避難所について

1. 千潟地域の指定避難所一覧

No.	施設名	所在地
1	萬歳小学校	萬歳総堀番外 1
2	萬歳地区多目的研修センター	櫻井 123-1
3	千潟中学校	入野 2170
4	ふれあいセンター	入野 1355-1
5	ひかた市民センター	南堀之内 10
6	古城小学校	鎗木 2699
7	コミュニティセンター	萬力 2231

2. 避難所の開設のタイミング（参考）

旭市地域防災計画（令和 4 年 3 月）により避難所の開設を判断します。

・地震や津波の発生、大雨警報や土砂災害警戒情報の発表状況等、気象状況を踏まえ開設します。

3. 避難所の開設について

①萬歳地区

【萬歳小・多目的研修センター】

萬歳小は、土砂災害警戒区域に入っていますが、体育館は高床式で土砂が抜ける構造となっているため、安全を確認しつつ体育館を利用します。

②中和地区

【千潟中・ふれあいセンター・ひかた市民センター】

千潟中は、千潟中の体育館は土砂災害警戒区域に入っているため、校舎東側の技術教室棟（武道場）を利用します。

③古城地区

【古城小・コミュニティセンター】

古城小は、一部が土砂災害警戒区域に入っていますが、体育館は高床式で土砂が抜ける構造となっているため、安全を確認しつつ利用します。また、状況に応じて校舎も活用します。



古城小学校の整備方針（案）

【校舎】

- ・屋根軽量化
- ・太陽光発電設備設置※
- ・エレベーター設置※
- ・教室等の改修
- ・多目的トイレの設置

【放課後児童クラブ】

- （校舎 1 階）
- ・運営方法の検討

【裏庭】

- ・舗装（通路・駐車場）

児童昇降口

【ビオトープ】

- ・バスロータリ化

【プール】

- ・運用方法を検討する
- ※解体または改修

【遊具改修】

- ・既存大型遊具撤去
- ・その他の遊具は劣化状況により改修

【既存暗渠】

- ・陥没対策

【校庭】

- ・グラウンド改修
- ・フェンス改修（出入口）
- ・園路の改修

【体育館】

- ・屋根改修
- ・太陽光発電設備設置※
- ・エレベーター設置※
- ・床改修
- ・エアコン設置

【その他検討する項目】

- ・防犯カメラの増設
- ・登下校システム（バス）の導入
- ・緊急通報システムの更新

すべての項目を整備するものではありません。

整備内容については、施設の状況等を踏まえ決定していく予定です。

太陽光発電設備、エレベーターについては校舎または体育館のどちらかに設置を検討します。

【法面（保安林）】

- ・保全および対策工事

【参考施工例】（林野庁東北森林管理局HPより）

治山工事（木柵工）



学校施設の水土砂災害対策事例集（R3.6文部科学省）

広島県立安西高等学校（防護壁の設置）

- ・立地場所が土砂災害特別警戒区域にあるため部室棟への土砂流入を防ぐため防護壁を設置。



設置前



設置後



教室



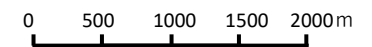
校舎正面



児童昇降口

[illegible]

● : 拠点となる施設



統合に向けた事前交流について

1. 現在行われている交流（抜粋）

対象	交流内容	千潟中学校	古城小学校	中和小学校	萬歳小学校
教職員	千潟中学校区教職員交流会 ※夏季休業期間中に実施	●●●● 4校の教職員が集まり、5分科会に分かれて研修・発表			
教職員・保護者	千潟中学校区 小中学校健全育成会議	●●●● 4校の校長・生徒指導主任・PTA会長・市教委・民生委員が参加			
保護者	千潟中学校区 PTA バレーボール大会	●●●●○ 休部中			
児童・生徒	合同パラスポーツ体験会 於：東総運動場	中学1年生 ●●●●	6年生 ●●●●	6年生 ●●●●	6年生 ●●●●
	合同修学旅行			6年生 ●●●● 事前のオンライン交流	6年生 ●●●●
	小見川宿泊体験 ※日程を組合せて実施			5年生 ●●●● 事前のオンライン交流 飯盒炊飯後、一緒にカレーを食べる	5年生 ●●●●
	(水泳学習) ※合同授業は行っていない		←●●●● 中和小の児童は、古城小のプールを使用している		

2. 香取市の事前交流事例

①香取市立水の郷小学校（旧津宮小学校・旧大倉小学校）

【リモートで実施したもの】

- ・自己紹介等

【津宮小学校（統合先）で実施したもの】

- ・学年ごとに交流会
- ・体育館でスイッチマン体操を合同実施
- ・グラウンドで天体観測会

②香取市立小見川中央小学校（小見川中央小学校・旧小見川南小学校）

【小見川中央小学校（統合先）で実施したもの】

- ・学年ごとに給食を一緒に食べ、交流レクを実施
- ・3年生、4年生の合同社会科授業（外部講師を招くもの）
- ・5年生 カヌー体験の実施（小見川少年自然の家）

【学校外で実施したもの】

- ・6年生 合同部活動見学を実施



(案)

旭市立中和小学校学校再編地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校の統合について旭市立中和小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を１校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」
とする方針について、「賛成」とする。

【検討の経緯と理由】

中和小学校は、明治１０年の創立以来、時代の変遷の影響を受けつつも地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、中和地区のシンボルでもあり「地域と共に歩む幽学の里の小学校」をキャッチフレーズとして、地域に根付き親しまれた学校が閉校することは非常に惜しまれる。

一方で、昭和の時代には３００名以上いた児童数は令和５年度に９０名となり、さらに減少していくことが見込まれ、複式学級が発生することが現実的となってきた。

会議の中では、もっと広域的な統合や小中一貫校、少人数教育の有効性などの意見もあるほか、統合する学校を干潟地域に残したいといった様々な意見があった。

多くの意見を出し合った結果、多数の委員が複式学級は避けたいとの意見であり、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に着けられるような統合を望んでいることから、子どもたちのことを最優先に考えた結果、統合は「賛成」または「やむを得ない」という意見が多数であったため、本会議として「賛成」とする結論となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心に生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めていただくため、次のとおり要望する。

【統合に向けての要望事項】

- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や個々に応じた心のケアなどの必要な活動を実施していただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③スクールバスは、子どもの健康維持を踏まえつつ、安全に乗降できる場所に設置していただきたい。
- ④中和小学校の跡地活用は、新たな地域の拠点として地域の活性化につながるような活用方法を地域とともに検討していただきたい。
- ⑤統合校は、新しい学校として地域のみんなで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

【会議の概要】

第1回 (R5.7.4)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 千潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.8.28)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.2)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換

令和5年〇月〇日
旭市教育委員会